

様式第 2 号の 1－②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 1－①を用いること。

学校名	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園
設置者名	学校法人中村学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のあ る教員等によ る授業科目の 単位数	省令で定める 基準単位数	配 置 困 難
文化・教養 専門課程	動物管理科 トリマーコース (2025 年度入学)	夜・ 通信	16 単位	7 単位	
	動物管理科 トリマーコース (2026 年度入学)	夜・ 通信	16 単位	7 単位	
	動物管理科 トリマーコース (2025 年度入学)	夜・ 通信	11 単位	4 単位	
	動物管理科 ドッグトレーナーコース (2025 年度入学)	夜・ 通信	11 単位	7 単位	
	動物管理科 ドッグトレーナーコース (2026 年度入学)	夜・ 通信	10 単位	7 単位	
	動物管理科 動物飼育コース (2025 年度入学)	夜・ 通信	9 単位	7 単位	
	動物管理科 動物飼育コース (2026 年度入学)	夜・ 通信	10 単位	7 単位	
	動物管理科 キャットプロコース (2025 年度入学)	夜・ 通信	11 単位	7 単位	
	動物管理科 キャットプロコース (2026 年度入学)	夜・ 通信	8 単位	7 単位	
	動物管理科 ホースプロコース (2025 年度入学)	夜・ 通信	7 単位	7 単位	

	動物管理科 ホースプロコース (2026 年度入学)	夜・ 通信	14 単位	7 単位	
	植物管理科 フラワーデザインコース (2025 年度入学)	夜・ 通信	10 単位	7 単位	
	植物管理科 フラワーデザインコース (2026 年度入学)	夜・ 通信	14 単位	7 単位	
	動物看護科 動物看護コース (2024 年度入学)	夜・ 通信	11 単位	10 単位	
	動物看護科 動物看護コース (2025 年度入学)	夜・ 通信	11 単位	10 単位	
	動物看護科 動物看護コース (2026 年度入学)	夜・ 通信	10 単位	10 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.aik.ac.jp/information/>
(学校ホームページ「情報公開」ページ 6. 教育内に公表)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園
設置者名	学校法人中村学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.aik.ac.jp/information.html>
 （学校ホームページ「情報公開」ページ 2. 中村学園について内4. 理事名簿等に公表）

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社FMG 会長	2025. 5. 31 ～ 2028. 5. 30	学識経験による
非常勤	古谷乳業株式会社 代表取締役 社長	2025. 5. 31 ～ 2028. 5. 30	学識経験による
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園
設置者名	学校法人中村学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・シラバス作成 授業概要、到達目標、成績評価の方法と基準を記載。 ・教育課程編成委員会の設置 カリキュラムや授業内容、授業改善アンケート等を討議。 ・講師会議の実施 年2回の講師会議を実施し、カリキュラムや授業内容の意見交換等を実施。 ・シラバス 学校ホームページにて公開している。	
授業計画書の公表方法	https://www.aik.ac.jp/syllabus/ (学校ホームページ「シラバス」ページ)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・定期試験を年2回実施している。 ・成績評価基準や方法はシラバスに記載している。 ・各コースにおいて各種検定試験を実施している。 ・成績評価方法 科目により各学年の学期毎（前期・後期）、または通年単位で行い、①出席率、②定期試験や小テスト、③平常点（提出物・授業参加意欲など）に基づいて総合的に行う。 (各評価基準はシラバスに記載)	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 【成績評価に係る取組】 教務にて意見交換を行い、校長、副校長、教務室長にて決定する。 その後、講師会議にて講師へ共有している。教育課程編成委員会にも報告し意見交換を行っている。 【成績評価方法】 ・各学年の学期毎（前期・後期）に行う。 ・①出席率、②定期試験や小テスト、③平常点（提出物・授業参加意欲など）などに基づいて総合的に行います。 ・6段階評価（A評価～D評価）により行う。 ＜基本評価基準＞ A評価：出席率90%以上・実技試験90点以上・平常点 優れている B評価：出席率80%以上・実技試験75～89点・平常点 普通 C評価：出席率60%以上・実技試験50～74点・平常点 やや劣る D評価：C評価の基準を満たしていない場合、不認定とする R評価：定期試験を実施しないが単位認定と認められる場合 Q評価：再評価を実施し、C評価以上の基準が認められる場合 ・評価を基に成績評価ポイントを算出しGPA評価し成績の分布を把握している。 (評価ランク及びGPA算出方法詳細は客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料を参照)	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.aik.ac.jp/information/ (学校ホームページ「情報公開」ページ 6.教育内3.成績評価方法及び進級・卒業の要件に公表)
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・該当年度の履修単位を取得すること。 「昼間部 2 年制」 1 年次 31 単位以上、卒業時に総単位数 62 単位以上を修得していること。 「昼間部 3 年制」 1・2 年次、各 31 単位以上、卒業時に総単位数 93 単位以上を修得していること。 「夜間部 2 年制」 1 年次、17 単位以上、卒業時に総単位数 34 単位以上を修得していること。 ・卒業判定に関しては成績並びに出席状況を卒業判定会議等で確認し、卒業要件を満たした者を卒業と認める。 ・卒業認定基準については学校ホームページにて公開している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.aik.ac.jp/information/ (学校ホームページ「情報公開」ページ 6.教育内3.成績評価方法及び進級・卒業の要件に公表)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園
設置者名	学校法人中村学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.aik.ac.jp/information/ (学校ホームページ「情報公開」ページ 学園の財務状況にて公表)
収支計算書又は損益計算書	https://www.aik.ac.jp/information/ (学校ホームページ「情報公開」ページ 学園の財務状況にて公表)
財産目録	https://www.aik.ac.jp/information/ (学校ホームページ「情報公開」ページ 学園の財務状況にて公表)
事業報告書	https://www.aik.ac.jp/information/ (学校ホームページ「情報公開」ページを公表・情報公開内容全般を事業報告とする)
監事による監査報告（書）	https://www.aik.ac.jp/information/ (学校ホームページ「情報公開」ページ 学園の財務状況にて公表)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物管理科 トリマーコース (2025 年度入学)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	71 単位	20 単位	13 単位	38 単位	0 単位	0 単位
分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物管理科 トリマーコース (2026 年度入学)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	71 単位	21 単位	13 単位	37 単位	0 単位	0 単位

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物管理科 トリマーコース (2025 年度入学)				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	夜間	40 単位	11 単位	5 単位	24 単位	0 単位	0 単位

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物管理科 ドッグトレーナー コース (2025 年度入学)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	86 単位	19 単位	42 単位	25 単位	0 単位	0 単位
分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物管理科 ドッグトレーナー コース (2026 年度入学)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	85 単位	18 単位	36 単位	31 単位	0 単位	0 単位

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物管理科 動物飼育コース (2025 年度入学)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	79 単位	29 単位	27 単位	23 単位	0 単位	0 単位
分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養	動物管理科	○			

		専門課程	動物飼育コース (2026 年度入学)					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間		78 単位	32 単位	24 単位	22 単位	0 単位	0 単位

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物管理科 キャットプロコース (2025 年度入学)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	65 単位	24 単位	0 単位	41 単位	0 単位	0 単位
分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物管理科 キャットプロコース (2026 年度入学)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	73 単位	30 単位	0 単位	43 単位	0 単位	0 単位

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物管理科 ホースプロコース (2025 年度入学)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間		68 単位	22 単位	0 単位	46 単位	0 単位
分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養専 門課程	動物管理科 ホースプロコース (2026 年度入学)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技

2 年	昼間	65 単位	19 単位	0 単位	46 単位	0 単位	0 単位
学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
400 人	468 人	2 人	28 人の内数 19 人	104 人の内数 68 人	132 人の内数 87 人		

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
218 人 (100%)	0 人 (0.0%)	210 人 (96.5%)	8 人 (3.5%)
（主な就職、業界等） トリミングサロン、ペットショップ、動物病院、動物テーマパーク			
（就職指導内容） 学科選任の就職指導担当を配置し、個々のカウンセリングを行う。就職ガイドやビジネストレーニングのビジネス教養科目、年数回の就職セミナーにて就職指導を行っている			
（主な学修成果（資格・検定等）） トリマーコース：JKC 公認 C 級トリマーライセンス等 ドッグトレーナーコース：マナーハンドラーテスト等 動物飼育コース：愛玩動物飼養管理士 2 級等 キャットプロコース：ZCC キャットマイスターベーシック・アドバンス等 ホースプロコース：乗馬技能認定審査 3 級・乗馬技能認定審査 3 級障害等			
（備考）（任意記載事項） ・昼間部動物管理科の生徒総員数、生徒実員、留学生数、専任教員数、兼任教員数、総教員数、卒業者数、進学者数、就職者数、中途退学の状況は各コース共通			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
468 人	5 人	2.2%
（中途退学の主な理由） ・業界への意欲や興味の喪失 ・精神的な問題により学園生活に馴染めず、継続していくことが困難となった為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制による学生管理・カウンセラーの設置・保護者との連携（保護者説明会実施や成績通知等）・学生診断調査アンケート（不適応者の早期発見）等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養 専門課程	植物管理科 フラワーデザイン コース (2025 年度入学)	○	

修業 年限		昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
			76 単位		講義	演習	実習	実験	実技
2 年		昼間			10 単位	37 単位	29 単位	0 単位	0 単位
分野		課程名	学科名			専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	植物管理科 フラワーデザイン コース (2026 年度入学)			○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
2 年	昼間	74 単位							
			9 単位	37 単位	28 単位	0 単位	0 単位		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
40 人		15 人	0 人	28 人の内数 1 人		104 人の内数 13 人		132 人の内数 14 人	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10 人 (100%)	0 人 (0%)	10 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) フラワーショップ、フューネラル			
(就職指導内容) 学科選任の就職指導担当を配置し、個々のカウンセリングを行う。就職ガイドやビジネストレーニングのビジネス教養科目、年数回の就職セミナーにて就職指導を行っている			
(主な学修成果（資格・検定等）) FDA フラワーカラー検定、JIFD フローラルデザイナー資格等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	1 人	5.3%

（中途退学の主な理由） 精神的な問題により通学が困難になったため
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制による学生管理・カウンセラーの設置・保護者との連携（保護者説明会実施や成績通知等）・学生診断調査アンケート（不適応者の早期発見）等

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	動物看護科 動物看護コース (2024 年度入学)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	130 単位	85 単位	13 単位	32 単位	0 単位	0 単位
分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	動物看護科 動物看護コース (2025 年度入学)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	127 単位	82 単位	13 単位	32 単位	0 単位	0 単位
分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	動物看護科 動物看護コース (2026 年度入学)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	135 単位	91 単位	12 単位	32 単位	0 単位	0 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		223 人	0 人	28 人の内数 8 人	104 人の内数 23 人	132 人の内数 31 人	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
63 人 (100%)	0 人 (0%)	63 人 (100%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 動物病院、その他動物関連事業所			
(就職指導内容) 学科選任の就職指導担当を配置し、個々のカウンセリングを行う。就職ガイドやビジネストレーニングのビジネス教養科目、年数回の就職セミナーにて就職指導を行っている			
(主な学修成果(資格・検定等)) 動物看護師統一認定試験等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
219 人	12 人	5.5%
(中途退学の主な理由) ・経済的に困難であり、奨学金等の補助があっても学費支払いが不可能となったため ・精神的な問題により学園生活に馴染めず、継続していくことが困難となったため ・就職への進路変更のため ・動物業界への意欲喪失のため 他		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による学生管理・カウンセラーの設置・保護者との連携（保護者説明会実施や成績通知等）・学生診断調査アンケート（不適応者の早期発見）等		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
■全科共通 (概要) 【シラバス作成】 授業概要、到達目標、成績評価の方法と基準を記載。 【教育課程編成委員会の設置】 カリキュラムや授業内容、授業改善アンケート等を討議。 【講師会議の実施】 年2回の講師会議を実施し、カリキュラムや授業内容の意見交換等を実施。 【シラバス】 学校ホームページにて公開。
成績評価の基準・方法
■全科共通 (概要) 【成績評価方法】

・各学年の学期毎（前期・後期）に行う。 ・①出席率、②定期試験や小テスト、③平常点（提出物・授業参加意欲など）などに基づいて総合的に行います。（各評価基準はシラバスに記載） ・6段階評価（A評価～D評価）により行う。
卒業・進級の認定基準
■全科共通 （概要） ・該当年度の履修単位を取得すること。 ・昼間部 2 年制は 1 年次 31 単位以上、卒業時に総単位数 62 単位以上を修得していること。3 年制は 1・2 年次各 31 単位以上、卒業時に総単位数 93 単位以上を修得していること。 ・夜間部は 1 年次 17 単位以上、卒業時に総単位数 34 単位以上を修得していること。 ・卒業判定に関しては成績並びに出席状況を卒業判定会議等で確認し、卒業要件を満たした者を卒業と認める。 ・卒業認定基準については学校ホームページにて公開している。
学修支援等
■全科共通 （概要） ・クラス担任による面談を実施 ・随時必要に応じて個人面談及び保護者面談を実施 ・学生状況は、全職員に学生システム及び会議内で共有され、各室連携し対応する。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
動物管理科 トリマーコース	120,000 円	900,000 円	719,973 円	<内訳> 施設費 400,000 円 テキスト代等 319,973 円
動物管理科 トリマーコース（夜間）	60,000 円	455,000 円	330,350 円	<内訳> 施設費 180,000 円 テキスト代等 150,350 円
動物管理科 ドッグトレーナーコース	120,000 円	900,000 円	776,114 円	<内訳> 施設費 400,000 円 テキスト代等 376,114 円
動物管理科 動物飼育コース	120,000 円	900,000 円	720,458 円	<内訳> 施設費 400,000 円 テキスト代等 320,458 円

動物管理科 キャットプロコース	120,000 円	900,000 円	749,468 円	＜内訳＞ 施設費 400,000 円 テキスト代等 349,468 円
動物管理科 ホースプロコース	120,000 円	900,000 円	900,405 円	＜内訳＞ 施設費 400,000 円 テキスト代等 500,405 円
植物管理科 フラワーデザインコース	120,000 円	900,000 円	882,569 円	＜内訳＞ 施設費 400,000 円 テキスト代等 482,569 円
動物看護科 動物看護コース	120,000 円	900,000 円	724,071 円	＜内訳＞ 施設費 400,000 円 テキスト代等 324,071 円
修学支援（任意記載事項）				
【特待生制度】 学業、学校生活において他の学生の模範となる学生に学費を減免する制度 【家族優遇制度】 卒業生の弟妹等には学費を減免する制度 【ひとり暮らし応援制度】 通学に 120 分以上かかる学生で一人暮らしをする学生を減免する制度 【フラワー優遇校制度】 植物に関する学科に在籍する高校生がフラワーデザインコースへ入学する場合に学費を減免する制度 【ホース優遇校制度】 馬術部を有する学校に在籍する高校生がホースプロコースへ入学する場合に学費を減免する制度				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.aik.ac.jp/information/ (学校ホームページ「情報公開」ページ 10. 自己評価にて公表)
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）

学校関係者評価委員会を年度に1回開催し、企業人、学識経験者、卒業生等からの第三者視点により学校運営の評価を行い、客観性、透明性の高い健全な学校運営を継続することを目的とする。

【評価項目】

- | | |
|-------------|----------------|
| (1) 教育理念・目標 | (7) 学生の受入れ募集 |
| (2) 学校運営 | (8) 財務 |
| (3) 教育活動 | (9) 法令等の遵守 |
| (4) 学修成果 | (10) 社会貢献・地域貢献 |
| (5) 学生支援 | (11) 国際交流 |
| (6) 教育環境 | |

【評価委員会の構成】

地域、企業等委員、卒業生等から選出。各々の委員の立場から広く客観的な学校評価を行える委員を選び、企業等委員については、専攻分野に対する知見を有するものを選出する。

【評価結果の活用方法】

学校評価を踏まえた問題点や改善事項については、学校長及び各室代表者による会議内で改善方策を検討・実行する。実施期については、改善項目により異なるが改善可能な項目は随時対応していく。また、対応に時間が必要な項目についても中長期的な計画を立て、改善を図る。

第三者評価の委員

所属	任期	種別
株式会社花門フラワーゲート	2026年4月1日～ 2028年3月31日	企業等委員
公益社団法人千葉県獣医師会	2026年4月1日～ 2028年3月31日	企業等委員
株式会社COREZON	2026年4月1日～ 2028年3月31日	学校関連企業
株式会社ニッセイアド	2026年4月1日～ 2028年3月31日	学校関連企業
株式会社スワット	2026年4月1日～ 2028年3月31日	学校関連企業
卒業生代表	2026年4月1日～ 2028年3月31日	卒業生
卒業生代表	2026年4月1日～ 2028年3月31日	卒業生
近隣住民代表	2026年4月1日～ 2028年3月31日	近隣住民

第三者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.aik.ac.jp/information/>

(学校ホームページ「情報公開」ページ11.学校関係者評価にて公表)

第三者による学校評価 (任意記載事項)

第三者評価は未実施となり、現段階で実施する予定は立っていない。
表中の各項目は学校関係者評価に関する内容を記載。

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.aik.ac.jp/>

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H112310000225
学校名（〇〇大学 等）	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	中村 洋子

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		175人（ 80 ）人	162人（ 71 ）人	180人（ 82 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	63人	52人	
	（うち多子世帯）	（ 13 人）	（ - 人）	
	第Ⅱ区分	30人	38人	
	（うち多子世帯）	（ - 人）	（ - 人）	
	第Ⅲ区分	21人	19人	
	（うち多子世帯）	（ - 人）	（ - 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	18人	12人	
	区分外（多子世帯）	43人	41人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				180人（ 82 ）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	1人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	1人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	1人	0人	1人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	2人	4人	4人
計	2人	4人	4人
(備考) 右以外の大学等「年間」は、修業年限3年の動物看護科。			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	2人	0人	2人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	8人	13人	11人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	0人	0人	0人
計	8人	13人	11人
(備考) 右以外の大学等「年間」は、修業年限3年の動物看護科。			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。